

No.	単語	説明
1	アルコール	無色で、揮発しやすく、燃えやすい液体。燃料・溶媒のほか、酒類や医薬品の製造等で使用される。
2	アンモニア (NH ₃)	常温常圧では無色透明の気体。特有の強い刺激臭を持つ。肥料や硝酸の原料、冷却材等に使用される。燃焼しても二酸化炭素を排出しない。
3	エチレン	石油化学基礎製品の一つ。ポリエチレンなど化学製品の原料として使用される。
4	カーボンニュートラル (CN)	温室効果ガス(※)の排出を全体としてゼロにすること。 ※二酸化炭素など、大気中に熱（赤外線）を吸収する性質を持つガス
5	カーボンニュートラルポート (CNP)	水素・アンモニア等の次世代エネルギーの大量輸入や貯蔵・利活用等、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や臨海部産業の集積等を通じて温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指す港湾。
6	コンビナート	企業相互の生産性の向上のために原料・燃料・工場施設を計画的・有機的に結び付けた工業地帯。
7	CO ₂ フリー電力	再生可能エネルギー等を使って、二酸化炭素を排出せずに発電された電力。
8	CCUS (CCS,CCU)	二酸化炭素の回収・有効利用・貯留 (Carbon dioxide Capture, Utilization or Storage) の略語で、火力発電所や工場などからの排気ガスに含まれるCO ₂ を分離・回収し、資源として作物生産や化学製品の製造に有効利用する、または地下の安定した地層の中に貯留する技術です。
11	水素 (H ₂)	常温常圧では無色透明・無臭の気体。燃焼しても二酸化炭素を排出しない燃料や基礎化学品の製造における原料としての利用が見込まれる。
	グリーン水素	再生可能エネルギー等を使って、二酸化炭素を排出せずにつくられた水素
	ブルー水素	二酸化炭素を回収・貯留・利用する技術を活用し、製造過程での二酸化炭素の排出量を抑えてつくられた水素
14	石油化学	石油及び天然ガスなどを原料として、合成樹脂、合成ゴムなどの製品を製造する化学分野のこと。
15	早生樹	コウヨウザンやセンダンなど、一般的なスギやヒノキに比べて、早く成長する樹種の総称。
16	草本類	いわゆる草のこと。
17	脱炭素化	社会経済活動その他の活動に伴って発生する温室効果ガスの排出量の削減並びに吸収作用の保全及び強化を行い、実質的な排出量をゼロにすること。
18	地域再エネ(再生可能エネルギー)電源	温室効果ガスを排出しない太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマスなど、地域の再生可能エネルギーを利用して発電した電源。
19	ナフサ	原油精製の副産物で、エチレン、プロピレンなどのオレフィン系炭化水素やベンゼン、トルエン、キシレンなどの芳香族炭化水素の原料として使われる。
20	二酸化炭素 (CO ₂)	常温常圧では無色透明・無臭の気体。大気中に約0.04%存在し、温室効果ガスのひとつとされる。炭素や有機物の燃焼などで生成される。
21	バイオマス	石油などの化石資源を除いた再生可能な生物由来の有機性資源。
22	バイオアルコール	サトウキビやトウモロコシ、木材などのバイオマスを発酵させて製造されるアルコール。
23	バイオ化学品	バイオマスを利用してつくられたバイオプラスチックなどの化学品。
24	バイオガス	微生物によるメタン発酵により廃棄物系バイオマスから発生したガス。
25	バイオ原料	バイオマスを利用してつくられた原料。
26	バイオナフサ	バイオマスや廃食油などから製造された石油由来ナフサ相当の再生可能炭化水素。
27	バイオマス燃料 (バイオ燃料)	バイオマスを利用してつくられる燃料。固体、液体、気体の燃料がある。
28	廃食油	一般家庭・飲食店等から不要物として排出された使用済み食用油。